

## 平成22年度 事業企画募集に関するご案内

川崎市男女共同参画センターでは、平成22年度に実施する以下の事業に関し、企画の募集を行います。

### 市民講師事業・講師募集のお知らせ

平成22年度も市民のみなさまに「市民講師」としてご活躍いただく企画を募集いたします。今までに培った能力・知識・知恵・技術を地域に活かしてみませんか。あなたも新たな活動の場とネットワークの更なる広がりのため、ぜひご応募ください。



募集テーマ  
ワーク・ライフ・バランス、女性史・女性学、コミュニケーション、市民活動、子育て関連、健康、法律・経済、キャリア支援、シニア、生活・環境、技術・芸能・活動、その他

### 市民グループ・団体提案型協働事業募集のお知らせ

市民、NPO、グループ・団体などが「男女平等のまち・かわさき」を目指して、男女共同参画の視点をもって、当センターが指定するテーマから地域課題として取り組むのが、当センターの協働事業です。

企画となる  
男女平等を阻害する要因の解消、男女の平等な参画会の確保など、男女平等に寄与する活動や研究など、市民の男女協働参画の理解や推進に役立つ企画を募集いたします。

募集  
女性の人権の確立、男性の行き方・地域参画、女性のキャリア支援、書籍・映像作品を通じて考える男女共同参画、子育て支援、その他(男女共同参画に関するテーマ)

応募期間 2010(平成22)年2月25日(木)～3月25日(木) [両事業共通]

申込方法 所定の申込用紙に必要項目を記入の上、窓口への直接持参か郵送にて受け付けます。  
(※FAXでの受付はいたしませんので、ご注意ください。)

上記2事業の応募申込用紙は、当センターのホームページからダウンロードしていただけます。

すくらむ21ホームページ <http://www.scrum21.or.jp>

また、詳しい内容へのお問い合わせやご質問などにつきましては当センター事務局にまでお問合せください。

## 「女性のための総合相談」のご案内

すくらむ21では「女性のための総合相談」として女性の皆様からの様々なご相談をお受けしています。

「女性の悩み相談・キャリア相談」は相談員と一对一で過ごす時間です。たとえば子育て、パートナーや職場での人間関係など、ライフサイクルの中で直面する悩みを抱えた方たちにご利用いただいております。電話でのご相談は、その第一歩です。ご相談内容については、秘密を守ります。迷っている方も、まずはお話ししてみてください。

### 電話相談

悩みを抱えている女性のための電話相談

(匿名でお受けしています)



たとえばこんな方に…

- ・いきなり対面で相談するのは勇気がいる。
- ・事情があってなかなか外出できない。
- ・悩みを他人に話す機会がない。

こころ、からだ、性差別、家族、夫婦、子育て、女性に対する暴力、生き方、人間関係の悩みなどの相談

ハロー・ウィメンズ110番 044-811-8600  
(匿名でお受けしています)

相談日	日曜日 12:00～17:00
相談時間	月～木曜日 10:00～15:00
	金曜日 15:00～20:00

※ 土、祝日および年末年始はお休みです。

FAX なお、聴覚に障がいのある方など、電話でお申込みができない方は  
FAX(044-813-5872)をご利用ください。

### 面接相談

まずはお電話でご予約ください。

(相談は無料です)

たとえばこんな方に…

- ・対面でじっくり話したい。
- ・法律の専門家から具体的なアドバイスが欲しい。
- ・自分の将来について話し合いながら、考えたい。



女性の悩み相談・キャリア相談／女性弁護士による法律相談

ハロー・ウィメンズ110番 044-811-8600  
(予約受付)

相談日	① 女性の悩み相談・キャリア相談 第1・3木曜日 10:00～12:00 第2木曜日 10:00～14:00
相談時間	② 女性弁護士による法律相談 第1・3木曜日 13:00～16:00

※ 面接相談はいずれも祝日および年末年始はお休みです。

編集・発行:川崎市男女共同参画センター

URL <http://www.scrum21.or.jp>



すくらむ21  
携帯サイトはこちらです。  
<http://www.scrum21.or.jp/m/>

P.2-3 女性起業家インタビュー  
(写真は「ラ・カンパーナ」の吉崎様)

P.10 開館10周年事業  
(写真は「館長と語る会」)



## CONTENTS

### 目次

### 特集

### 記事

## 私の夢と想いを実現! ～女性起業家インタビュー～

- 今時代の課題を考える。男女共同参画時事セミナーのご紹介 ..... 4~5
- 地域の課題を考え、取組む。協働事業実施レポート ..... 6
- 私の特技や力を市民の皆さんに。市民講師事業実施レポート ..... 7
- 地域で私ができることを探す。すくらむ塾実施レポート ..... 8
- 地域の3つの祭が、同日開催! 第5回すくらむ21まつりのご案内 ..... 9
- 開館10周年記念事業の実施レポート ..... 10
- 使いやすい施設であるために。施設改善レポート & 書誌解題 ..... 11
- 平成22年度 事業企画募集に関するご案内 ..... 12

# 私の夢と想いを実現! ~女性起業家インタビュー

すくらむ21では、「女性起業家入門セミナー」や「商人デビュー塾」など、起業支援に関する講座を開催しています。「商人デビュー塾」では、夢と想いを実現させた女性起業家のお店を毎年訪問しています。今号では、昨年訪ねたお店の方に、改めて体験談やお店の経営等についてインタビューさせていただきました。



## バッケンウンドブランテン(Backen und Braten) 白井様

### ①起業までの道のり

精肉店を営んでいた父に、独立したいと言えないまま、横浜市中小企業支援センターに相談し36歳で開店。融資を担保無保証で借り、開店1週間前に父に報告。工場だけは貸してもらいましたが、スタッフも完全ではない状態でスタート。融資、工事、近隣のこと等で「何か一つでもつまずいたらやめなさい」とアドバイスされましたが、順調に進みそのままオープンとなりました。その後6年間で酒販売の許可をとり、店内での飲食が可能になりました。来年からは何か新しいことを始めたいと思います。ネットショップも運営していますが店頭のように対面での接客ではないので、素早い対応はもちろん発送にはとても気を遣います。

### ②創業して大変だと感じていること

やはり資金繰りですね。支払金額が予想以上で…。でも大切なスタッフの賃金は下げられないで包装の簡素化や広告費等、カットできるものはカットしました。現在は雑誌などでも紹介していただいているが、口コミしてもらえるようになるまでは大変でしたね。



## イタリアの風 ラ・カンパーナ(La·Campagna) 吉崎様

### ①起業までの道のり

子育ても一段落した頃、やってみたかった事を思い切って始めてみようと思ったのがきっかけです。主人の仕事を手伝いながら、経理・営業・飲食店向け店舗設計などに携わってきたことが大きな経験でした。開業資金としてコツコツためた500万円を使いました。

店舗を探していたところ、知り合いからマブレを勧められました。昔から大好きだったイタリアンのお店を新百合ヶ丘に聞くことに決める、偶然にも、協力してくれるシェフにも恵まれました。自分の目標がはっきりすると、おのずと情報が集まってくるんですね。こうして開業の準備が着々と整い始めました。

以前インテリアコーディネーターの勉強をしたことでも功を奏し、自分で描いたラフスケッチが形になっていくことに大きな喜びを感じました。起業のために勉強をした訳ではなかったのですが、「人生学ぶことに無駄はない」と感じました。

### ③創業して良かったと感じていること

美味しいといわれること。「あなたに会って、本当に嬉しい」といわれたことが一番嬉しかったです。

### ④仕事をする上で大切にしていること

接客です。お客様とのつながりやコミュニケーション。店側の接客マナーと同じく、お客様のマナーも大切です。マナー違反の方には注意もします。常連さんの中には1時間もお話をしても帰られる方もいます。常にお客様の目線を忘れないようにしています。

### ⑤起業にあたって利用した公のサービスは?

融資が出るはずでしたが、その前に機械を入れる内金を支払ったらお金があるとみなされて減額となり、実際の運用資金がなくなってしまい大変でした。助成金に関しては、国のは出店時期とタイミングが合わず、申請しませんでした。

### ⑥起業を目指す人へのメッセージ

うちのように日持ちしないものは大変です。食品なら、腐らないものがいいかも知れませんね。内装などはできる範囲内で始まります。

めることも大切です。運営資金は1年分位あるといいと思います。自分のポリシーと謙虚な姿勢を両方持つことが大事だと思います。お客様に対する感謝の気持ちは常に忘れてはいけないんです。

### ⑦お店のPR

季節のものを使った限定商品もあります。今はゆず。春は桜の花と葉を入れたウインナー、夏場は作りませんがゼリー寄せも人気です。



### 自然パンと自家製ハムの店

TEL 044-951-4386  
URL <http://www.backen36.com>

自分がいるのも事実なんです。いつも笑顔で「いらっしゃいませ」、「ありがとうございます」の一言、大切ですね。

### ④仕事をする上で大切にしていること

皆さまに「美味しい」と仰っていただけるように、日々努力をしていきたいと思っています。また、最大の笑顔でお迎えすることも大切なことです。

### ⑤起業にあたって利用した公のサービスは?

公のサービスは利用していません。仕事で融資に関するアドバイス等もしており、理解はしていましたので、自分では公の機関に相談をすることはなかったです。

### ⑥起業を目指す人へのメッセージ

自分がどんなお店を作りたいのか、きちんとコンセプトを持って、わかりやすく打ち出すことが必要だと思います。経営者の目的、ターゲットがぶれてしまうと、迷うのはお客様だということも忘れないでください

いです。いかに自分らしさを出して高い満足度を与えるか。それから、愛情のエッセンス、アモーレも忘れないで欲しいです。資金繰りも審査基準の厳しいこの頃です。無理をせず、自分ができる範囲をよく見極めて、計画性を持った資金繰りをすることが大切だと思います。

### ⑦お店のPR

全国の美味しい原材料を直接買い付け、

季節感のあるメニューを提供しています。ナチュラルな天然食材を大切にし、大好評のリゾットには「秋田県の炭穀米」を使用しています。

### イタリアの風 ラ・カンパーナ

TEL 044-952-2670  
URL <http://ggyao.usen.com/0004008597/>



## 生姜料理 しょうが 森島様

### ①起業までの道のり

起業前は専業主婦で、子供に絵を教えてたり、造形教室をしていました。下の子供が中学生になった時、何かしてみたいと思ったんです。もともとは今のような飲食店ではなく、18年前から2年ほど『仕事着屋』として小物や仕事着などを販売していました。数年前に出会ったフラワーアレンジメント講師の友人と、新百合に新しくできる商店街で、二人で何かやろうという話が進み、一緒に店を始めることにしました。順調でしたが、製作の忙しさが増して縫う時間もなくなり、家族にも心配をかけたため、徐々に『生姜料理』をしていました。

生姜料理の専門店が日本では1軒しかないという珍しさも手伝い、マスコミや雑誌に取り上げられ、お客様も増え、ますます忙しくなりました。年上だったパートナーは4年目に引退することになり、一人で借金の残りを返しながらやっていくことになりました。取材が増えるのに従い行列もできました。お客様をお待たせするのも申し訳なく、並んでくれた方を逃すのももったいないと思い、9年前『がらがら』という2店舗目を出すことに。そこでも行列ができる様になり、案内しあって、空いている方へ案内をしていました。

3店舗目を考えた時、シルバーの奥様方も多い地域柄、単なるおしゃれなメニューではなく、生姜を使った甘味や健康料理にうどんなどメニューに加え、女性をターゲットにしたお酒も飲めるお店を作ることにしました。3店舗目を開店して2年目にしてやっと、各店舗に店長をつけ、借金も返すことができました。平成5年に『仕事着屋』、平成12年に『がらがら』、平成19年に『祝茶房紅拍手』、そして有限会社を設立するまでになりました。

### ②創業して大変だと感じていること

立地条件もあり、客の出足はお天気にも左右されます。集客のための小さな努力は一杯きました。18年目にしてやっと今の状態になったんです。それからやっぱりお金のやりくりは大変でした。最低限のものしか借りずに頑張りました。土台だけはしっかりと作ってもらい、内装やベンキ塗りなどは自分達でやりました。最初の『しょうが』では

※マブレ情報 TEL 0215-0021 川崎市麻生区上麻生1-6-3 URL <http://www.shinyuri-mapre.jp/>

## 編集後記

お忙しい中、いやな顔ひとつせずに、インタビューにお答えくださった3人の女性創業者の皆さんに、心から感謝申し上げます。取材をさせていただいた、私もたくさんパワーを頂きました。このパワーがこれから創業を目指す皆さんに届きますように…

ないので、そのくらい古くからやっていると、いうことで、貴重だと思います。このまま株式会社にせずに続けていきたいです。

### ③起業を目指す人へのメッセージ

起業を目指す女性は一杯います。何をするにもお金は必要です。やりたいことがあつたら、それに向かって、ひとつずつ、ひとつずつやって固めていく。でも絶対うまくいくという保障はありません。もしだめだったらどうするかという最悪の事態を考えておくことは大切です。もし失敗して借金を残してしまった時、ちゃんと返せるのか。だから両親や、夫に許してもらえる範囲しか借りませんでした。一人で何でもやっていける度胸や覚悟はありません。私には家族が大切。家族がいたからやってこれました。それはとても恵まれていたことです。いつも身边に相談できたり、支えになってくれる人がいました。後のこともしやめたらその時どうするのか等)を考えることも大切ですね。

### ④お店のPR

生姜は健康でいたい方にとって大事な食品です。私自身、冷え性も肩こりもほとんどなく、頭痛や更年期障害に悩まされたこともありません。生姜がはもともと好きでした。お土産屋さんに行ってもまずは『がり』を頂くような子どもで、それは今でも変わりません。朝・昼・晩と少しずつ生姜をとっています。病気をした時も回復がとても速いです。少しずつでも毎日とりたい食品ですね。様々ななしうがのメニューをお楽しみください。

(※森島オーナーは「生姜三昧」という本も出版されています。このインタビューの後、本を見せていただき、お勧めのしつけレシピを教えていただきました。)



## 生姜料理 しょうが

TEL 044-951-9797  
URL <http://www.syouga-love.com>



# 今の時代の課題を考える。 男女共同参画時事セミナーのご紹介

## ？ 男女共同参画時事セミナーって？

ここ数年のあいだの急激な社会的・経済的な変化にともなって、男女共同参画にかかる問題も多様化、複雑化しています。そこで、すぐらむ21では2009年度の学習研修事業として「男女共同参画時事セミナー」と題したシリーズ講座をこれまでに3回開き、「介護」「子育て」「貧困」を取り上げました。なお、今年度最後となる4回目の講座では、「女子差別撤廃条約採択30年」をテーマに、3月20日に開催します。

第1回

テーマ  
**介護**

## ひとりでがんばらない介護

日時:2009(平成21)年10月24日(土)10時~16時

講師:高橋 香代子 氏(青梅慶友病院看護部 看護師)※第1部、第2部ご担当  
堤 郁子 氏(社団法人川崎市看護協会 常務理事)※第3部ご担当

講座の狙い

少子高齢化や都市化(=地方の過疎化)、晚婚化・非婚化などが進むにつれて、老老介護や介護疲れなど「介護」に関わる問題は複雑化しています。そこで、社会保障の制度や仕組みなどの規則・ルールの理解だけでなく、介護される側の立場に立った介護のあり方やちょっとしたテクニックも学んでいただける講座にしました。

講座の構成と内容

### 第1部 「高齢者の心身の特徴を知り、ケアに生かす」

からだ、こころ、人との関わり、生活、生きがいに変化が起こる高齢者の特徴を、どのようにケアに活かしていくかを考える講義でした。高齢者といつても様々で、ひとりひとりの生活背景や心身の特徴をふまえ、老いて生きることの意味や価値を実感できるよう、個別性を考慮した関わりの重要性について説明がありました。また、高齢者の安全と安楽についてもお話しがありました。

### 第2部 「介護テクニックを磨いて、愉しく気軽に。」

参加者同士でグループをつくり介護を体験しました。介護者役、高齢者役となってオムツを着用したり、ゼリーやコーンフレークを飲み込むことで嚥下の仕組みを学びました。安全と安楽に配慮した車イスやベッドの使い方、負担の少ない姿勢の変え方などの技術もみがきました。また、口の中の清潔だけでなくおいしく安全に食べるためのリハビリとしての口腔ケア方法など、実用的で最新の情報もご提供いただきました。

### 第3部 「活用したい社会資源・地域のネットワークを知ろう。」

川崎市が発行する「高齢者福祉のしおり」を参考しながら市民が利用できる施設の紹介をはじめ、悩みや相談事、要望の問い合わせ先など、地域のネットワークを有効に活用するための基本的な情報を教えていただきました。また、夜間対応型訪問介護や小規模多機能型居宅介護などのさまざまな種類のサービスの紹介を通じて、利用者本位の福祉サービスの利用法についてお話をいただきました。



まゆ知識

### 11月11日は「介護の日」です。

厚生労働省は、「介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」として、「11月11日」を「介護の日」と定めています。「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、「いい日、いい日」にかけた覚えやすく、親しみやすい語呂合わせになっています。

第2回

テーマ  
**子育て**

講座の狙い

## 子育てから考える新しい地域づくり

日時:2009(平成21)年11月20日(金)10時~13時

2009年1月に川崎市男女共同参画センターとかわさき子育てネットワークとの協働事業として「川崎の子育て支援検証交流フォーラム」を開催し、これまで市内各区で実施されてきた事業の振り返りを行うことができました。今回は、その継続として現状の課題とこれからの子育てについて市民と行政が対話する場としました。

講座の内容

川崎市内各区の子ども支援室長の皆さまより、区内で実施した平成20年度事業成果と平成21年度の事業計画についての説明をしていただきました。また、子育てにかかる市民団体の代表者より現場で活動する親の思いや、これまでに市内で活動してきた子育てグループの歴史を振り返るプレゼンテーションを行っていただきました。現状の説明から質疑応答まで、お話をいただいた内容は、このような講座にはじめて参加していただいた市民の方にも分かりやすいものでした。



第3回

テーマ  
**貧困**

## 格差社会と女性・子どもの貧困

日時:2009(平成21)年12月5日(土)10時~12時

講師:阿部 彩 氏(国立社会保障・人口問題研究所国際関係部第2室長)

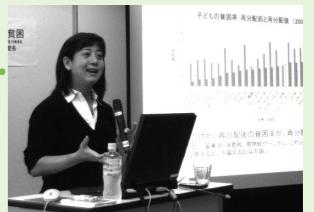
講座の狙い

昨年は一年を通じて、派遣村、孤独死、相対的貧困率15.7%の発表など、格差や貧困に関するニュースが数多く出された年でした。また、内閣府からも『新たな経済社会の潮流の中で生活困難を抱える男女に関する監視・影響調査報告書』が発表されるなど、格差社会と貧困は現代的課題として取り上げられています。そこで、『子どもの貧困―日本の不公平を考える』の著者で知られる阿部彩氏をお招きし、特に女性と子どもへの影響に焦点を当てる講座にしました。

講座の内容

国内外の豊富なデータを元に、日本で広がる貧困の実態が明らかにされました。単身で暮らす高齢者、そして母子家庭において貧困率が高く、性別で見ると男性よりも女性が厳しい状況下に置かれていることが説明されました。また、OECD(経済協力開発機構)調査やPISA(生徒の学習到達度調査)の結果を示しながら、一般論としてではなく、一定の相対的貧困状況にある子どもには、学力や虐待、非行経験、健康状態などで違いが生じる傾向があり、それが貧困の世代間連鎖につながっていることがデータにより示されました。

日本の経済レベルからは想像することが難しい実状が示されるたびに講座参加者からは驚きの声があがりました。また、政府による再分配政策を通じて逆に貧困率が上昇しているという結果や、年金受給額の男女間格差が与える高齢者世帯への影響、そして最後には日本が抱く「貧困」意識の貧しさと、保障していくべき「最低保障」をめぐる議論にも話が及ぶ中身の濃い講座となりました。



阿部 彩 氏

\*本事業のうち、第1回「ひとりでがんばらない介護」と第3回「格差社会と女性・子どもの貧困」は、内閣府「地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣事業」として実施いたしました。

次回予告

### テーマ [女子差別撤廃条約採択30年]

2009年度の男女共同参画時事セミナーの最終回では、「女子差別撤廃条約採択30年」を取り上げます。

- 日時:2010(平成22)年3月20日(土) (※開催時間は現在調整中)
- 講師:矢澤 澄子 氏(東京女子大学現代教養学部教授)

女子差別撤廃条約の採択から30年が経過し、日本においても法整備が進んできました。その一方で私たちの暮らしはどうに変化してきたのかを振り返ります。家族や市民生活の視点を踏まえて、身近なお話などから女子差別撤廃条約の採択30年間を踏まえた内容を予定しております。

\*詳細は決定次第、当センターのホームページにおいてお知らせいたします。または、お電話にて当センターへお問合せ下さい。



# 地域の課題を考え、取組む。 協働事業実施レポート

川崎市男女共同参画センターの「協働事業」は、市民活動グループの活動を支援することを通じて、男女共同参画社会の実現を推進していくために行っている事業です。前号に引き続き、実施レポートを掲載いたします。

## 女性起業家ビギナーズサロン ～夢を形に、自分らしく起業しよう！～

協働事業実施団体 Dream's Scrum

- 日時:平成21年7月18日、9月19日、11月21日、平成22年1月16日
- 会場:川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21) 4階 多目的室、3階 会議室
- 講師:第1回 水野 公美 氏(人材育成コンサルタント)  
第2回 中島 まり子 氏(税理士)・岸田 則子 氏(社会保険労務士)  
第3回・第4回 竹内 幸次 氏(中小企業診断士)



起業に向けて女性がつまずきやすい課題を女性の視点で明らかにして、解決の道筋をつかむことを目的として、1回ごとにステップアップできる内容で全4回開催しました。

第1回は、「やりたいことを明確にしよう！」をテーマとして、起業への思いを固める第1歩を踏み出す内容でした。起業を目指すうえで、自分が何をしたいのか、何が好きで得意なのか、どんな生き方をしたいのかなど、さまざまな角度から自分をしっかり見つめる時間となりました。

第2回は、「これだけは知っておきたい 税務・労務の知識」をテーマとしました。具体的に自分が始めたい事業について、個人事業・法人事業など、形態の違いによる準備や届出の相違点、税金について、さらに人を雇用する時に必要なことについてなどの税務・労務に関して、税理士と社会保険労務士のお二人に解説していただきました。

第3回は「業種別、起業準備にかかるお金の話！」をテーマに、起業

を考える時に避けては通れない、具体的なお金の話(資金)について、また最終回の第4回では「さあ、スタートラインにたとう！」というテーマで、起業までのロードマップづくりに関する講義を中小企業診断士の竹内幸次氏よりお話をいただきました。

各回の後半の時間では、同じ思いを抱える参加者同士が語り合う「交流会」の時間を設けました。今後励ましあえる仲間作りの場として、さまざまな情報交換が行われました。

今年度の女性起業家ビギナーズサロンは、起業を目指す女性で構成されたDream's Scrumとの協働事業で実施しました。企画・運営側のメンバーが当事者ということで、参加者と運営者とどちらの皆さんも起業への熱意がとても強く、全ての回で非常に活気溢れたサロンとなりました。

川崎市男女共同参画センターでは今後も起業を目指す方へのさまざまな講座を開催予定です。

## 見つけよう！輝こう!!自分らしい社会参画 ファイナンシャルプランナーがおくる 私らしく輝くためのライフプラン

協働事業実施団体 FPラボ ソレイユ

- 日時:平成21年9月18日、10月9日、10月22日
- 会場:川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21) 3階 会議室
- 講師:第1回 稲葉 麻里子 氏(ファイナンシャルプランナー)  
第2回 田中 一恵 氏(ファイナンシャルプランナー)  
第3回 中村 真佐子 氏(ファイナンシャルプランナー)



働く女性や母親を対象に、一人ひとりが自分を見つめ直して目標や夢をしっかりと持ち、そこに根差した生涯設計(ライフプラン)をたて、経済面での基盤をしっかりとすることで将来の安心につながることを知ってもらいたい、ただお金を得るために働くのではなく、自分らしい社会参画の道を探っていくように女性のファイナンシャルプランナーの視点で講義を行いました。

「キャリアプランを立てる」「働く上のマナー知識を学びながら自分にあった働き方を模索する」「独自のライフプランを立てる」を各回のテーマに設け、3回開催しました。

自分を改めて見つめ直すことや確定申告、源泉徴収、ライフプランなど、忙しい中でつい見てみぬフリをしてしまいがちでも、生活して

いく上で重要な事柄についての講義だったので、参加者の皆さん非常に真剣に受講されていました。

講義後の「なんでもおしゃべりタイム」では自身の状況や、不安に感じていることを参加者同士で共有し合い、ファイナンシャルプランナーである講師から質問・疑問・不安に感じていることについての解説もありました。

参加者からは「現状や今後のことを見直すきっかけになった」、「考えたくないと避け気味にしていた将来のことをわかりやすい一覧表を作ることで、より良い目標と現時を直視できてよかったです」などの感想をいただきました。「自分らしい社会参画の道」を探っていくための大きなきっかけとなったのではないかでしょうか。

# 私の特技や力を市民の皆さんに。 市民講師事業実施レポート



「市民講師事業」とは、市民の方がお持ちの能力や知識、技術をいかして講師としてご活躍いただく事業です。前号にひきつづいて、昨秋以降に開催された講座についてレポートさせていただきます。(平成22年度の募集については裏表紙をご覧下さい)



## 市民講師体験談

### マイクで無言の自己紹介

- 日時:10月18日(日) 10:00-13:00
- 講師:森田 藍 氏(マイクセラピスト)kohaku主宰

自分の経験・知識・技術を身近である地域の方に伝える活動に興味を持ち、今回の市民講師事業に応募致しました。

「印象管理」をテーマにした講座でしたが、自己流マイクは他人からどう見られているのか、なぜそう見えてしまうのか、なりたい自分になるためにはどういうマイク法が必要なのか、受講者の方々の目は真剣そのものでした。

「マイクで気持ちや行動が変わる」普段の自己流マイクから、理論に基づいたマイク法を学んでいくと、徐々に顔の印象だけでなく、表情や雰囲気も変わっていき、グループ内でも歓声が聞こえるようになりました。

今回参加して下さった皆様が家族・友人等、周りの方に学んだことを伝えて頂ければ、そこからまた笑顔の輪が広がり地域の活性化に繋がっていくのではないかと考えています。私も多くの女性の発展と成長のため、これからも精進して参ります。本当にありがとうございました。



### すぐに役立つ! コミュニケーションのつぼ —コミュニケーションの知恵と技—

- 日時:11月20日(金)、12月11日(金) 10:00-12:00 [2回連続講座]
- 講師:石田 智子 氏(NLPコーチ)

私はフリーで「コミュニケーション」をテーマにした講師活動を昨年から開始しました。学んできたコーチング、NLP(神経言語プログラミング)を取り入れた「コミュニケーションの知恵と技」を一人でも多くの方にお伝えしたいと考えています。

また、生まれ育った川崎の地での活動のきっかけとして「市民講師事業」への応募を昨年度から視野に入れておりました。ですので、今回この講座開催の機会をいただき一年がかりで自分なりの準備をしてきたことが実現でき嬉しく思います。

実際に講座を行ってみて、改めて「場」を創ることの醍醐味、「一貫性と柔軟性」を併せ持つて講師として場創りをする良い経験ができありがたく思います。自分の伝えたいことや、準備した内容を受講して下さった皆さまの「質問」や「反応」で柔軟性をもってあえて手放すことの大切さを、特に二日目に体験することができました。

今後の講師活動の幅を広げる体験ができたので自信を持って「伝えたいことの場創り」を進めていきたいと思います。これも、積極的に参加して下さった皆様と「すくらむ21」のスタッフの方のサポート無くしてはできなかつたと、感謝しています。



ホームページ <http://www.ko-ha-ku.com>

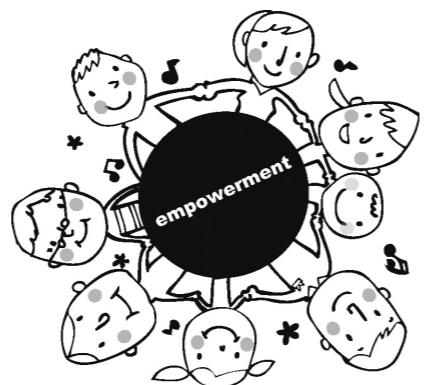
# 地域で私ができることを探す。 すくらむ塾実施レポート

「すくらむ塾」公開講座が開催されました!  
～私の声を市政に届ける政策塾～

前号のすくらむ21通信でも紹介した「すくらむ塾」。ここでは、2009年11月と2010年1月に開催した公開講座の模様をレポートいたします。

## 子どもたちに残したい未来のまちって?!

地域で、生活の中で、課題が見つかった時に市民としてどのように行動を起こしていくことができるのでしょうか? 課題を具体的に説明する力のつけ方、市内各区の協働事業の詳しい内容、まちづくりへの関わり方などを学び、市政に積極的に関わっていくための政策塾です。



日頃からの、ゆるやかな地域ネットワークづくりで地域防災

### 公開講座 第1弾 「安心・安全なまちづくり～大地震時にも協力し合えるまちをつくろう」

- 日時：2009年11月21日(土) 14時～17時
- 会場：川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21) 第1・2研修室
- 講師：若林直子氏(有限会社生活環境工房あぐと 代表取締役)

地域で生活する市民がまちづくりに参画することは、なぜ必要なのでしょうか。本当に安心・安全なまちは、どのようにしてつくればよいのでしょうか。

公開講座の第1弾では、講師として若林直子氏をお招きし、「安心・安全」をキーワードに講義とワークショップを開催しました。大地震が発生したときの被災地の状況、防災意識構造をふまえて、日常との連続性、地域におけるゆるやかなネットワークづくりが大事であるとのお話をいただきました。後半では大地震の発生を想定し、どのような問題が発生するか、どのような対策をすればよいか、ワークショップを行いました。

「安心・安全」とひと口に言っても、集合住宅と戸建て、あるいは性別・年齢、家族やペットの有無などにより、何が安心・安全であるかはさまざまです。そうした対処すべき問題の幅広さを、参加者の皆さまの視点で出しあうことで、防災の体制づくりに向けた体験学習をしていただきました。



その事業、きちんと成果を示していますか?

### 公開講座 第2弾 「持続可能なまちをつくるための市民参画」

- 日時：2010年1月16日(土) 13時～16時30分
- 会場：川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21) 第1・2研修室
- 講師：粉川一郎氏(武蔵大学社会学部准教授)

第2弾は、市民が持続的に社会へ参画していくための、理想と現実、課題、戦略について、武蔵大学の粉川一郎氏をお招きし、講義とグループワークをしていただきました。

講義では、日本におけるNPOをはじめとする市民活動を取り巻く状況について、様々な調査結果やデータをもとに解説をしていただきました。他国とくらべると、日本は市民活動が育つ土壤が豊かではなく、だからこそ行政との協働が重要である。そのためにも自分たちの活動の目的は何であり、成果はどうだったかをきちんと示し、活動をアピールしていかなければならないというお話をいただきました。講座の後半では、実際に意見を出しあいながら、市民団体の活動成果を測るために指標を作成し、その指標を効果的なものにするためにはどうすればよいかを講師の粉川氏よりご指導いただきました。

「成果指標に“正解”はありません。でも、ちょっとした工夫で納得してもらえる指標に近づけることができます」。みなさんの事業は、きちんと成果を示せているでしょうか?



# すくらむ21まつり

2010年  
2/21日

## 地域の3つの祭が、同日開催! 第5回すくらむ21まつりのご案内

第5回すくらむ21まつりは、同じ地域内で行われるお祭りと同じ日に開催します。

大山街道活性化推進協議会主催の『大山街道フェスタ』、川崎市生活文化会館(愛称:てくのかわさき)主催の『てくのまつり』、そして『すくらむ21まつり』。それぞれの特色がいかされた、皆さんに愉しんでいただけるような盛りだくさんの内容になっています。



今年は、センター開館  
10周年を記念して、  
おまつりで次のイベントも  
おこないます。



1

### パープルリボンプロジェクト

パープルリボンとは、個人の間で起こる暴力や虐待の撲滅と防止をめざすリボン運動のことです。すくらむ21では、前号でお知らせしたパープルリボンプロジェクトを継続して、すくらむ21まつりでも実施いたします。

#### パープルリボンタペストリー掲示

すくらむ21を拠点に活動されている高津パッチワークサークル様が、本プロジェクトに賛同くださり、リボンをかたどったタペストリーを製作してくださっています。

#### 牛乳パックでパープルリボンベンチを製作します!

牛乳パックをあつめてパープルリボンをかたどったベンチを作っています!ちょっと腰かけて休みながら、リボンを知りたい機会になればよいと思います。

#### パープルリボンしおりの追加配布

昨秋、川崎市内に配布させていただき、好評のうちに在庫がなくなってしまったしおりが再登場します。(詳しくはP.10をご覧下さい)

2

### ミニFM放送 すくらむ局

今年度の夏期インターンシップ生が中心となって、すくらむ21まつり当日にミニFM局を開きます。おまつりを開催している間、3つの祭りに関する情報や、参加団体や地域の皆さまへのインタビュー、夏期インターンシップ生を中心に、生放送でお届けします!

すくらむ21の周辺にお住まいの皆さまは、当日FM周波数88.0MHzに合わせてください!

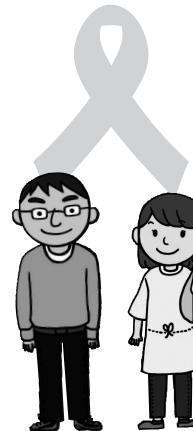
(発信する電波が微弱であるため、すくらむ21から半径100~200mが放送範囲となります。また、ビルなどの遮蔽物によっては受信できない地域がございます。あらかじめご了承下さい。)



当日は皆さまお誘いあわせの上、ぜひおまつりにお出かけください。



# 開館10周年記念事業の実施レポート



## ①「パープルリボンプロジェクト」しおりを追加配布します!

すくらむ21では、開館10周年記念事業として、DVをはじめとする個人間の暴力根絶を目指すパープルリボンプロジェクトを2009年11月より実施しております。

パープルリボンをデザインした“しおり”を作成し、すくらむ21館内のはか、市内公共施設、図書館、大学、書店などにもご協力頂き、延べ135ヶ所で1万枚あまりを配布しました。また、川崎駅地下街アゼリアの広報コーナーでも巨大ポスターを展示するなど、広くパープルリボンを知って頂くための取組みを行いました。

おかげさまでパープルリボン・プロジェクトは大変好評をいただき、継続実施することとなりました。

すくらむ21まつりでは、パープルリボンの“しおり”を追加配布するほか、高津パッチワークサークル様がパープルリボンの“タペストリー”を、KSアカデミー研修生とインターンシップ生がパープルリボンの“ベンチ”を制作・展示します。ぜひ、すくらむ21まつりにお越しください。



## ②より身近な施設となるために～館長と語る会(全2回)を開催しました!

### 第1回 「すくらむ21の過去・現在・未来」

- 日 時：2009年11月28日(土) 14時～16時
- 会 場：川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21) 多目的室
- 登壇者：鈴木 悅子(川崎市男女共同参画センター館長)



### 第2回 「川崎市の男女共同参画をめぐる現状と課題」

- 日 時：2009年12月12日(土) 14時～16時
- 会 場：川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21) 多目的室
- 登壇者：鈴木 悅子(川崎市男女共同参画センター館長)  
諸橋 泰樹 氏(フェリス女学院大学文学部教授、川崎市男女共同参画センター運営委員)

川崎市男女共同参画センターは開館10周年を迎え、すくらむ21のあり方、および川崎の男女共同参画の現状と今後について、利用者の皆様と直接お話しをさせていただく「館長と語る会」を企画・開催し、両日とも和やかな雰囲気のなか、活発な議論がなされました。

第1回は、「すくらむ21の過去・現在・未来」と題し、男女共同参画の推進に向けて当センターが果たすべき役割、推進・改善すべき点について、館長の鈴木悦子より説明の後、参加者の皆様と意見交換をさせていただきました。例えば、市民講師事業での採用を2回までとしていることについての質問をいただき、多くの市民の方をエンパワーブルするため、また市民講師経験者が自ら講座を開催される際の場を提供することも可能であることを説明させていただきました。また、図書やメールマガジンをはじめとする情報提供のあり方等についてのご意見もいただきました。

第2回は、「川崎市の男女共同参画をめぐる現状と課題」をテーマに開催しました。川崎の男女共同参画について館長・鈴木よりお話をさせていただいた後、諸橋泰樹氏より歴史的な流れや海外の状況など、より大きな視点から男女共同参画の現状についてわかりやすい解説をいただきました。質疑では、男女共同参画推進にむけての長期的なビジョン、待機児童の状況、講座のアピールなどについて、率直なご意見を伺うことができました。

「館長と語る会」で頂いたご意見・ご要望もふまえ、今後も川崎市の男女共同参画のより一層の推進に向け当センターを運営して参ります。

本年度の館長と語る会は終了いたしましたが、当センター入り口には常時「ご意見箱」を設置しております。皆さまのご意見をお待ちしております!

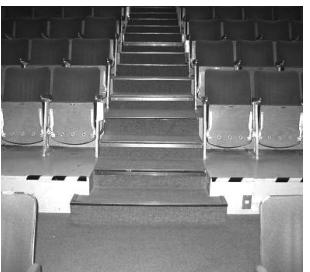


# 使いやすい施設であるために。 施設改善レポート

すくらむ21では、利用者の皆さんにより快適な環境で施設をご利用いただくために、今年度も改善を行ってきました。皆さんに身近で使いやすい施設でありつづけるために、優先順位をつけて改善を継続してまいります。

## ホール改善(座席階段段差)

ホールを利用する際に場内を暗くしていた場合などで座席の段差が見えにくいとのご指摘をいただきました。テープを貼って目立たせました。



## 図書特集への誘導案内

4階の情報提供室で特集している本を、1階のお客様交流スペースにも展示しています。新しい本を目当てにご来館される方もいらっしゃり、ご好評いただいております。



## 階段 照明電球取替え

階段の踊り場にある照明を電球色から蛍光色に変更しました。段差もはっきり見えるようになり、安全に上り下りしていただけます。



## お部屋のご案内表示

お部屋の名前を廊下を歩いていてもすぐ分かるように、立体表示にしました。



## 『母が重くてたまらない——墓守娘の嘆き』

信田さよ子著 2008年4月発行 春秋社 1,700円(税別)

墓守娘とは、家のお墓を守ることに象徴されるように、家庭に縛られてきた母から、母自身の身代わりのように過剰な干渉を受ける娘たちのことである。彼女たちはわざわざいいという気持ちを抱いている。しかし、娘がこのように感じていることに母は気がついていない。母は虐待、育児放棄などとは無関係で、娘のためになんでもおこなうすばらしい母でありながら、もの分かりのいい、面倒見のいい母を無意識に演じつつ、娘の人生(進学、就職、結婚)を支配してしまっているからだ。

本書は、娘が働くようになってからも娘の生き方に口を出し、家事や経済的な面倒も見続ける母親と、それを重く感じている娘との関係が主題となっているが、その背後には、子育てに時々しか関わらなかった父親、子育てでは母親が行うものと思い関心が薄い父親、関係ないと思っている父親の問題が横たわっている。

母ー娘問題の根源は夫婦問題であり、家族全体の問題でもある。いま、娘である当事者もいざれば母となる日が来るかもしれない。同じ問題を次の世代へ連鎖させないために、いま解決しておきたい問題である。母や娘だけでなく、自分は関係ないと思っている男性も、ぜひ一読を。

文責:渡辺由香里(川崎市男女共同参画センター職員)

### 【著者紹介】

信田 さよ子(ノブタ サヨコ)…1946年生まれ。臨床心理士。原宿カウンセリングセンター所長。お茶の水女子大学大学院修士課程修了。駒木野病院、嗜癖問題臨床研究所付属原宿相談室を経て1995年に原宿カウンセリングセンターを設立。アルコール依存症、摂食障害、ダメスティック・バイオレンス、子どもの虐待などに悩む本人やその家族へのカウンセリングを行っている。

## 書誌解題

